

活動報告

団体名	れんげ国際ボランティア会
活動名	令和2年7月豪雨災害の被災者のための緊急救援事業
活動期間	2020/07/07~2021/03/31
活動の成果	<p>近年の緊急災害時の支援においてはWeb（ホームページやSNS）での発信を上手く使うべきであることは言わずもがなだと思います。被災者と支援者をいち早くつなぐことができ、全国の人々に刻々と変わる支援物資のニーズやコロナ禍におけるボランティアの必要性や注意点などを伝えることで、タイムラグの少ない物資支援を行ったり、マンパワーのスムーズな供給を行うことができます（この度のボランティアは熊本県内のみの受け入れでした）。また被災者にとっては、どこに行けば支援物資を得られ、炊き出しなどを受けられるかを確実に知ることができます。しかし、今ひとつ重要なのはデジタルな情報取得が難しい人達に対する対応です。これは多くは年配の皆さんですが、いつの災害の時も年配の皆さんの在宅避難に対する支援は難しいものがあります。今回当会はこの点に関して、自治会や同窓会の情報をフルに活用し、見過ごされがちな高齢者被災者への支援を行うことができました。さて今回特に痛感したことは、誰しも地域やご近所さんとの繋がりの大切さです。また団体においては行政や各種団体（例えばNGO、NPO）との繋がりの大切さです。当会はこれまで各地の災害支援で知り合ったり、古くから交流のあった団体のおかげで実力以上の支援活動を行うことができました。「普段の繋がりが非常時の力」となることを実感しました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度の令和2年7月豪雨に関して、被災者支援のためにご寄付いただき誠にありがとうございました。寄付者の皆様の温かい善意により、突然の災害で物理的にも精神的にもダメージを受けた被災者の皆様がどれだけ勇気づけられたことか分かりません。私達NPOは皆様の善意を託された者として、その責務を果たすべく、被災者の身になって、精一杯復興のお手伝いをさせていただきました。コロナ禍により活動は困難を極めました。被災者に寄り添う支援を心がけて実行してまいりました。活動の様子はwebサイトにてご覧頂けますので、ご覧頂けましたら幸いです。</p>

(活動のようす)

